

### 桂スチール

# 玉野第2工場を建設

## 6月予定 小物ニーズ対応

桂スチール(本社〓姫路市、三木桂吾社長は6月にも玉野工場(岡山県玉野市)に第2工場を建設する。同工場の切板設備は大板の加工については充実しているが、小物加工は対応しづらかった。こうしたネックを解消し、顧客満足度の向上を図るのが狙い。すでに用地は取得済みで、新工場棟にプラズマ切断機1基(コマツ産機製)、アイトレーサー1基を導入する。第2工場の完成後、玉野工場の切板は現状比300㏄増の月間1400㏄まで引き上げる計画。



三木社長

玉野工場は昨年5月に、三井物産厚板加工の工場建屋を購入し、9月から本格稼働させ

た。既存第1工場の設備は、切板がプラズマ切断機、レーサー切断機、プレーナー、マーキング、アイトレーサー各1基、造船向け切板用のプラズマ切断機1基、BH(ヒルトH形鋼)設備1ライン。月間加工量は切板が約1

100㏄、BHが650㏄。このうち、切板はBH向けと建築向けが月間1000㏄を占め、そのほとんどが大物の加工となっている。ただ、顧客からの注文は、建築部材・金物など小物とセットのケースが多い。こうしたニーズに応えるには

既存工場では対応しづらいことから、第2工場を建設する。1月に近接する建屋付きの土地(敷地面積1792平方㏄)を取得、3月には解体を終え、すぐに工場建屋を建設する。第2工場の建屋面積は約455平方㏄。小物加工用にプ

ラズマ切断機とアイトレーサーを導入し、早

ければ6月からの稼働を予定している。